

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	28	—	事業名	公民館事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1 一般会計
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える	款	9 教育費
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援	項	4 社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1 社会教育総務費
		政策分類	—		大事業	6 公民館事業
	その他(関係法令、要綱等)		第2次長久手市生涯学習基本構想、長久手市公民館条例、長久手市公民館条例施行規則、ながくて・学び・アイ講座運営要綱			
事業開始の背景、経緯等		公民館 平成8年～ ながくて・学び・アイ講座 平成20年度試行、平成21年開始				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・公民館の管理を行う。 ・公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) ・公民館：公民館利用者(市外の方も可) ・講座：市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によって市外の方も可)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民及び公民館利用者の居場所づくり及び仲間づくりを支援する。				
	事業を構成する事務事業	① 公民館事務事業	改善・見直し	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)		千円	予算			3,952	4,032
決算						3,685	3,739	
人件費(B)		千円	決算			5,042	3,502	
総コスト(A)+(B)		千円	決算			8,727	7,241	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 公民館利用者数		人	目標	47,000	52,000	57,000	55,000
実績				51,034	56,073	54,040	43,325	
B 受講生募集講座数に対する開講講座の割合		%	目標	55	65	85	70	80
			実績	64	84	69	76	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 目標は、前年度利用者数から1000の単位で繰り上げ								
B 市民のニーズに合った講座を受講生募集可能講座とし、開講可能講座数の充足を目標とする。(開講決定講座/募集講座) 目標は前年度実績を参考に決定する。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の尾張旭市、瀬戸市、日進市、豊明市で講師募集型講座を実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公民館：平成27年度に比較し、公用利用が減少し、より多くの一般の方に利用して頂けるようになった。ただし、一般利用は公用利用と比較し1回の使用人数が少ないため利用者数は減少した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 公民館講座はあくまで生涯学習のきっかけづくりが目的であり、継続した生涯学習を推進するためにサークル活動が行いやすい環境の支援(制度・学びの場)を行う必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。また、講座に参加してもらうよう生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座終了後も自主的にサークルを立ち上げ活動できるよう、講座を行っているうちから学習サークルの設立案内等を行う。
	中長期の目標	(いっごらまでに事業をどのような状態にしたいか) 講座後の学習活動(サークル)の継続を促す等、より自主的な学習を支援していく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公民館事業										
番号	①	事務事業名	公民館事務事業		款	9	項	4	目	1	大事業	6	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度	公：H8～ 　　な：H21年度～（H20年度試行）			終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民及び公民館利用者にとって、交流や学びの場となる公民館の管理・運営を行う。市内在住、在勤、在学の方（ただし、講座によっては一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可）を対象に公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	市民及び公民館利用者の居場所づくり仲間づくりを促す。市民が受講生として学ぶだけでなく、講師として教えるながくて・学び・アイ講座をととして居場所づくり・仲間づくりの場を提供する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			3,952	4,032	3,240
		決算			3,685	3,739	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
講座参加者数	人	目標	240	440	460	380	400
		実績	438	452	372	398	
新規サークル	人	目標	10	15	13	10	10
		実績	14	12	9	9	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

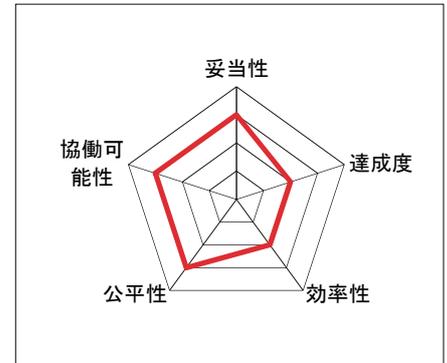
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
平成28年度までの9年間で応募講師数は549名、うち319講座を募集し、195講座開講した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
講師から受講生への一方的な授業ではなく、相互に学ぶことができるような仕組みを作る必要がある。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理するとともに、講座に参加していただく事で、生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座修了後も自主的に学習サークルを立ち上げ活動できるよう講座を行っている内からサークルの設立案内等行う。